一九五三年の三鑛勞組の重大三つ又

闘争史に燦たる一頁

一九五三年はまことに多事多難であつた。六十三日の長期ストの立直しから出發して、炭婦協の結成、首切闘争、賃金、期末手當闘争と、闘争の連續であつたが、一九五四年は昨年のあらゆる闘争を充分批判して防衛から攻撃の態勢を整えねばならぬ。

勞働協約を一年延長

一月十六日より廿一日迄で開催された第六回の三鉱運大会で、事務局より勞働闘争に対する下部大衆の繰り上りが出来ていないので、一年間延長して態勢をとゝのえると提案し種々論議の結果、昭和二十六年十二月十日付勞働協約は昭和二十九年三月三十一日迄その期間を自動的に延長することを決定した。勞働協約の改訂は本年初頭の問題となることは必至である。

阿具根氏參議に當選

阿具根氏の參議員出馬は上部組織の決定に従う、ということで持越されていたが、三鉱運大会で確認したので二月八日の第四回中央委員会で三鉱運大会の報告と同時に立候補が本決りとなり、選挙戦に入り、四月二十四日の投票で見事二〇七・七五二票を得て当選、同氏は

二十八年間の炭鉱人として働いたとの経験を生かし、一勞働者炭勞の政治局員として血の一滴まで搾げて闘う。

と感激に充ちて誓つた。

保安確保を申入れる

八ケ月無災害の輝かしい記録をうちたてた三川鉱で谷口又喜氏が殉されたが、十九日同じ三川鉱の上層東五卸右三十片四号右中間で採炭夫猿渡正光、喜多新一、木下光利の三氏が殉職、西川辰造氏及採炭係員小山政吉氏が重傷を負ふ一（熊本）の両氏、全国区參議は阿具根寛氏を公認、田中、吉田、阿具根三氏のみが当選した。この選挙闘争の充分な批判をなして、拡大を図らねばならぬ。

組合長に宮川氏

四月七日の第十二回中央委員会で阿具根寛氏が參議院出馬のため辞任、十八日の第十四回中央委員会で副組合長であつた西川支部出身の宮川勝男氏が就任した。

福利闘争でスト指令發す

六十三日に亘る苦しい闘いを続けつゝ、保安状況に徹底的なメスをいれ、厳重に所長に申入れをなした。この保安問題は団体交渉事項として昨年より持越している、企業整備闘争後の人員減による保安問題は本年の重大課題である。

スト規制法粉砕

一月二十七日の闘議で公益事業並に基幹産業のスト制限強化の方針を決定して、東京、大阪、福岡で公聴会を開催し、学識者、全勞働者、学生の反対も押切り立法化に狂奔したが吉田内閣の分裂解散で一応見送りになつた。第五次吉田内閣が成立するや六月十四日再度提案、組合としては炭勞の指令闘い抜かねばならぬ。

首切反対蹶起大會

八月廿一日第二波の二十四時間ストに突入し、決戦段階に臨むために雄林会館で首切り反対総決起大会を決行、組合員、主婦、子供、組合も一万数千の人員を動員して職場を構成、市民に協力を要請し、続いて本社デモを、坂梨炭鉱、水町勞働歌、中山人事課長に首切り撤回のため努力することを確約せしめた。

雨中の棺桶デモ

不当なる首切通告状を出した会社に対する、組合員、家族の怒りはついに炎え立つた「切られても地獄、殺つても地獄」を相言葉に八月四日小雨降る中を、首切通告状を棺桶に詰めて、歴史的な雨中の棺桶デモを決行、服部人事部長とニュース・カー「はたかぜ」の上で組合状を受取れと交渉し「一先ず預かりする」と申出で午後十一時散会した。

山ノ上團交

首切闘争と上部組織の改選との関係より、執行部の任期延長の規約改正の無記名投票がなされたが、結果は否決され、二十二日定期改選を行い、宮川組合長が再任した。

勝立賣店問題

組合改選に会社は首切闘争の切崩策として、職制を通じ投票改選に介入したことは事実で、十一月三日勝立森下賣店長が一人一人をよんで特定の候補者に投票せしめたことが確実になり、本所支部青本教宣部長等が公開質問、対決をせまつたところ、いちはやく会社はハイヤーで賣店長を連出しに来たのでこれを阻止したところ、全治二週間の打撲傷をうけたとして、これまた青本教宣部長外十一名が検束され、四名が起訴された。

定期改選

首切闘争と上部組織の改選との関係より、執行部の任期延長の規約改正の無記名投票がなされたが、結果は否決され、二十二日定期改選を行い、宮川組合長が再任した。

首切り撤回せず

十一月二十七日、組合員、家族が一丸となり、必死の闘いを続けて来た首切闘争は遂に実を結び、完全に会社は撤回した。六日は全支部あげての歓迎大会を開催、七日東地裁に申請中であつたが、企業整備闘争後の人員減による保安問題は本年の重大課題である。

福利問題解決

炭婦協結成に端を発した福利厚生施設に関する問題は、地勞委、東地裁に申請中であつたが、企業整備闘争後の人員減による保安問題は本年の重大課題である。

賞與金六千七百圓で妥結

昭和二十八年の賞與手当は六月二十五日三万円で要求書を提出、六回に亘る団交をもち、月、日八・四五〇円で妥結され、下期は百十三日に及ぶ歴史的な企業整備闘争に対する闘争で会社に与えた経済的打撃は甚大だつた。然しそれに依つて結成間もない炭婦協の真の姿を外に鮮明に出す事ができたのであつた。賞与は、勞働者の持つ離職者は甚大だつた関係もあり、諸般の事情からして遂に賞与金六・七〇〇円の線で妥結せざるを得なかつた。然し額の比では見る角会社に与えた圧力は従前の比ではなく新年度に大きな期待がかけられる。

三池炭婦協結成さる

永い間の懸案であつた三池に於ける炭婦協結成は、あらゆる会社の妨害、脅迫にもめげず、先ず五月十二日三川支部関係の緑ケ丘炭婦協が結成、各支部、各社宅でも会社の徹底した妨害にも屈せず次から次へと結成、七月二十一日ついに大夕地に於て約千名の代表が集つて三池炭鉱主婦協議会を結成、五島より子さんが初代会長になり力強い発足をなした。

首切案を出す

スト規制法が通過するや、三井独占資本家共はその尖兵を出して八月七日二千七十一名の首切案を提示して来た。組合では違法闘争の指令を発し、希望退職受付開始日の二十七日企闘第一波の二十四時間ストを決行し、大衆動員の第一段階に入る。

首切反對蹶起大會

荒尾市長　坂田昌亮

一九五四年には日本の運命に影響する重大なことが起つて来るように感われる。再建日本にとり民生の安定と経済の自立が第一と考える。資組合は重要産業三井鉱山の第一線に立ち奮闘努力しておられるが、正義と友愛を基調に益々団結を堅くし事業の繁栄のために尽されんことを切望する。年頭に当り本業の御協力に感謝し挨拶とする。

荒尾市警察署長　寺本章

新春を迎え御一同の弥栄を心から御祝い申上げます。

私の署内訓のモットーは協和であります、人間能力の限界を考えるにつけ此の意味の重要さを改めて痛感致します。私は今年も法的強い経験を更に本年で強く闘き、正義確立の為の強さの前に先づ裸生活と平和を闘い取る為に、全国の勞働者が早急に統一戦線の結集になつて人間的互いの理解を深めこゝから築はえる正しい協和を図る人々に強くお願えします。

東鹿大牟田支部長　猿渡馨

炭勞の勝利は、相手が強いと考え又は考えさせられ勝ちとしていた勞働者に、団結が一切の勝利を左右することを強く教えた。吾々は一九五三年の闘いで学んだこの強い経験を更に本年で強く闘き、全国の勞働者が早急に統一戦線の結集生活と平和を闘い取る為に、一九五四年に生きる人々に強くお願えします。

三池合成勞組　管原房司

執行委員長

昨年は最も困難な闘いをかちぬき、勞働運動に益々自信を持つた年と思います。

今年も独立と平和の中で生活を異かに明いものとする為に、常に前衛として勇敢に闘つて来た現幹部を中心として一歩一歩闘いを進めましょう。

朝日新聞　大牟田支局長　大須賀信彦

〝ブル新聞〟

見てきたような

ウソを書き〝

まあどういつた調子で組合関係かの内部強化に努め次の闘いに備え

分開鎖を以て臨むものと見られる然し経営者が得手勝手に戦争を選択すると云うことは組合法の精神を踏みにじることなので炭勞としてはこの場合当然全員入坑拒否をもつて対抗せざるを得ず、こゝに官憲の不当介入が予想される訳で対策委員会としては緒戦委員長が炭勞九州本部に頑張りその下に亀田委員が居て何時何処にでも飛び出せる遊撃態勢で待機、このほか前記現地派遣委員並に地元代議士らによつて如何なる事態にも対応出来る構えをとる。第一波が中止となつたあと第二波以降に備えている。

世界中の大人達の反省を

世界最高映画賞受賞〝禁ぜられた遊び〟

「禁ぜられた遊び」を観て、自移動する戦争避難民、突然、それ分のなかに湧つた感動をもつてまました。ものを書くほどのものなら描しも、なにか、それについて書かずにおられなくなるで、私の場合、先ず第文化タイムス紙で「今井正」「南美江」のその映画に関する対談を読んでをり今井のいふ「弱ひが不明確」ということについて、先ず考へさせられたので、こゝでは作品を解析しながら今井の不可解乃至は不満に感じた部分について、私なりの「解答」を試みていかうと思ふ。

冒頭郊外らしい道路上を悲しくに圧殺され、踏みにられて

ネ・クレマンの子供心の追及は心中いきゝかの感みきなく、ミ

ない。また少女が踏れて、可愛ゆ

ミシエルは、運去

井正は新ひが解らぬとか宗教否定

ミシエルの子供心の追及は心

ミシエルの家に泊まる。

ミシエルは秘密の場所、朽ちた

ミツセルは秘密の場所、朽ちた

ミシエルは、ミ

ミシエルは、ミ

ミシエルは、ミ